

# JR姫路駅付近連続立体交差事業が 全国街路事業コンクールで全国街路事業促進協議会会長賞

平成24年6月6日、第24回全国街路事業コンクールにおいて、JR姫路駅付近連続立体交差事業が全国街路事業促進協議会会長賞を受賞しました。

### 【位置図】



### 【主な整備箇所写真】

整備前

整備後



### 【事業概要】

事業名称： JR山陽本線等姫路駅付近  
連続立体交差事業  
 事業箇所： 姫路市市之郷～姫路市岡田  
 除却踏切数： 7箇所  
 立体交差する都市計画道路： 9路線  
 事業延長： 約6.6km  
 総事業費： 約632億円  
 事業期間： 昭和63年度～平成22年度

### 【主な整備効果】

- 南北道路交通の円滑化  
JR姫路駅周辺の南北を結ぶ都市計画道路が、4本・10車線から10本・28車線へと増加した。  
また、合計7箇所の踏切が無くなり踏切事故や、踏切遮断による交通渋滞が解消された。
- 交通結節点機能の向上  
JR姫路駅が高架化により南へ移動することにより、駅北広場が約2.5倍の面積に広がり、バス・タクシーの乗り降りがスムーズになるとともに、新しく交流空間も整備される。
- 都市の活性化  
都心部にあった鉄道の貨物基地・車輛基地を移転し、約26ヘクタールの広大な土地が新たに活用される。
- 南北土地利用の促進  
姫路駅周辺では、南北を平面でむすぶ道路や通路ができ、往き来がしやすく、利便性が向上した。  
鉄道で分断されていた土地が、連続した都市空間として利用可能になった。

整備後(姫路駅を東から望む)

